

<麦類の栽培ポイント>

本年産は播種時期から好天が続いたため生育は順調に推移しています。しかし、降雨が平年に比べ少なかったため、除草剤の効果が十分に発揮されず、一部のほ場で雑草の発生が確認されています。

2月は気温・降水量ともに平年並と予想されます。気象の変化や生育の状況を十分に確認し、高品質麦の安定生産に向けて次の対策を実施しましょう。

1 麦踏み

麦踏みは、地上部の過剰生育を抑制しながら、分けつを活発にし、根張りを良くするとともに、耐寒性を増大させる効果があります。

麦踏みの加重は、人の体重くらいが適当です。また、降雨・降雪後で、ほ場が水分を多く含んでいる時や凍結層がある時は逆効果なので行わないようにします。麦踏みは10～14日間隔を空けて、莖立ち期（例年3月上中旬）までに3回以上行って下さい。

2 排水対策の徹底

麦は全栽培期間を通して湿害を受けやすい作物です。時々排水溝を点検し、必要に応じて、溝さらいを行いましょ。まだ排水溝を設置していないほ場は、3月以降の降水量の増加に備え、早期に設置し排水対策を実施しましょ。土壌を乾きやすくすることで、麦踏みも行いやすくなります。

3 雑草防除

雑草の発生状況を観察して、除草剤を散布しましょ。また、毎年同じ成分の薬剤を使用すると、特定の雑草が増えやすくなりますので、使用する薬剤をローテーションしましょ。

麦類の防除農薬（例）

令和3年1月13日現在登録内容

農薬名	適用雑草名	使用時期・使用方法	使用回数
ハーモニー75DF水和剤	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ	麦3葉期～節間伸長前に雑草茎葉散布又は全面散布 (但し、スズメノテッポウ5葉期までが散布適期)	1回
エコパートフロアブル	一年生広葉雑草	節間伸長開始期までに雑草茎葉散布又は全面散布 (小麦、大麦とも広葉雑草2～4葉期まで、小麦のみヤエムグラ2～6節期まで) 但し、収穫45日前まで	2回以内
アクチノール乳剤	畑地一年生広葉雑草	穂ばらみ期まで（雑草生育初期）に雑草茎葉散布	2回以内

※農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。

(裏面あり)

<スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）に注意しましょう>

近年の暖冬傾向により、南アメリカ原産のスクミリンゴガイの越冬数が増えています。足利市では農作物への大きな被害はみられていませんが、市南部のほ場や用水路で生息が確認されています。今後の気象条件によっては、さらに生息数が増加するおそれがあるので注意が必要です。

1 特徴

卵は濃いピンク色をしているので、発見しやすいです。以下のことに注意しましょう。

Q ピンクの卵塊が気持ち悪い！毒があるの？

A 卵には毒がありますが、触っただけでかぶれたり、皮膚から染みこむことはありません！生のまま大量に口にしなければ問題ありません。

成体には寄生虫がいる可能性があるため、触ってしまったら良く手を洗いましょう。

Q 水稻を食べちゃうの？

A 小さな水草などを食べますが、大きい植物は食べられません。移植直後から5葉期になる頃までは水稻を食害する可能性があります。

平年の普通植の生育なら6月15日に4.1葉期の苗を移植すれば、6月25日頃に5葉期になります。

2. 防除対策

発生が確認された場合には、以下のような防除対策を行いましょう。

時期	対策	方法と効果
冬期	耕うん	寒さに当てたり、ロータリーの爪でつぶしたりして殺貝する。
移植前	水路からの進入防止	水口に網を設置して水路からの進入を減らす。
	水路での殺卵・捕殺	濃いピンク色の卵塊は水中に払い落とし駆除する。 黒～白っぽい卵塊は押しつぶし駆除する。
	箱施用	パダン粒剤4を箱施用して、忌避作用により被害を減らす。
移植時・移植後	中苗移植	食害されにくい 4葉期以上の中苗 を植え付けることで、被害を軽減する。
	薬剤散布	田植直後にスクミリンゴガイを見つけたら薬剤を散布して殺貝する（キタジンP粒剤の本田散布）。
	浅水管理	浅水にするとスクミリンゴガイが水稻を摂食できなくなるので、6月中は水深を4cm以下にする。 この時、田面に凹凸があると、水がたまるところに貝が集まるので、代かきは丁寧に。行う。

※ パダン粒剤4、キタジンP粒剤は令和3年1月13日時点の登録内容です。

農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。

※ 詳しい情報は、農林水産省公表『スクミリンゴガイ防除対策マニュアル(移植水稻)』をご覧ください。